

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 11 日作成)

小委員会名	積載荷重小委員会	主 査 名：山村一繁 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：和田章 主 査 名：神田順
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積載荷重について,合理的な設計のための基礎資料や考え方を体系的にまとめ,建築設計に貢献する.</li> <li>・積載荷重に関する,高度な工学モデルの構築.</li> <li>・工学が一般社会への説明責任を果たすための方法の検討.</li> <li>・ひび割れを対象とした積載荷重の評価.</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 山村一繁(首都大),石川孝重(日本女子大),岩原昭次(崇城大),太田博章(竹中工務店),高橋徹(千葉大),寺田隆一(日建設計),久木章江(文化女子大),横山裕(東工大)	
設置 WG (WG 名:目的)	なし	
2008 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s23/">http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s23/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 高度なモデル構築を目指し,既往の研究に関する再検討を行った. 2. 床版用積載荷重について,特性・積載物イメージ・コスト目安・CASBEE 指標といった観点からの説明方法について検討を行った. 3. 鉄筋コンクリート造建物の床スラブおよび梁について,ひび割れと積載荷重の関係について,検討を行った.
委員会活動の問題点・課題	1. ホームページの更新が十分でなかった.